

第2期 第1回景観まちづくり 市民検討会を開催しました

市民委員は随時
募集しています！
ご興味のある方は
都市計画課まで
ご連絡ください♪

市民検討会の活動について

調布市は、平成25年6月に景観法に定める「景観行政団体」に移行しました。市内の景観行政事務を市自ら行う中で、市民とともに景観について調査・検討を行う「景観まちづくり市民検討会」を開催しています。

第1期（平成27、28年度）は「屋外広告物」や「身近な景観づくり」について、市民委員のみなさんが撮影した写真をもとに話し合いや取りまとめを行いました。

第2期となる今年度は、「景観の基礎」を学んだうえで、調布市の景観重点地区である深大寺周辺の景観を実際に見て「まちあるき」を行い、市民の視点から意見をとりまとめ、子どもたちが景観について学習できる資料を作りあげる予定です。

市民委員からのQ&A

人の手がついていない状態が「自然」で、自然な美観と考えるが、「自然の美観」と景観をどう考えますか？

手入れされていない原生林や、手入れされた豊かな緑など、「自然」の定義は定めていません。今ある自然を活かして美しい景観を見せる、「見たいものが見える」状態にすることが「景観まちづくり」と考えています。（職員）

景観法には何が書いてあるんですか？

法律には景観の善し悪しは書いていません。景観が大事だと思う行政団体は、景観を大事にするための計画を定めても良い！という法律です。（石川先生）

第1回市民検討会

日時 平成29年9月22日（金）
午後7時～午後9時
場所 文化会館たづくり大会議場
内容 (1) 景観のイロハのイ
(2) 調布市の概要
(3) 深大寺通り周辺
景観形成重点地区のまちづくり
(4) 深大寺まちあるきの説明
(5) 写真の撮り方レクチャー
参加者 市民委員22名



石川初先生
慶應義塾大学大学院教授

景観アドバイザー 石川初先生より

- 大学の講義くらい中身の濃い内容でした。
- 次回のまちあるきの舞台である深大寺は、地元のみなさんがとても考えて工夫されており、景観の材料としては良すぎる文脈があるところです。
- 深大寺の良さを見つけようと気負わず、素直に深大寺を見て楽しんでシャッターを押してください！

第2回市民検討会 深大寺まちあるき

深大寺のステキな景観を探しに、カメラや地図を持ってまちあるきに出かけませんか。

今回の『ちょうふ景観だより』ではまちあるきの様子や、深大寺の景観見どころポイントを紹介します！

第2回市民検討会

日時 平成29年10月10日（火）
平成29年10月22日（日）
午前9時から
集合場所 深大寺西参道石碑前



調布市では、景観まちづくりについて、景観だよりでお知らせをしていきます。

発行：調布市都市整備部 都市計画課 景観係

Tel：042-481-7746 Fax：042-481-6800 Email：tikubetu@w2.city.chofu.tokyo.jp

ちょうふ 景観 だより

37号

平成29年
10月20日発行

景観って、 なに？

- 【本号のもくじ】
- 景観って、なに？
 - 調布市の景観はこんなところ
 - 景観まちづくりの取組
 - 市民検討会を開催しました



景観って、なに？

「景観」とは、「人が感じること」

人の目は目に映るすべてを等しく見ているわけではありません。**見たいもの・見やすいもの**を見ているといわれています。

「景観」とは、人や建物、木や自然ではなく、人が五感（特に視覚）により得られたものをいいます。



景観を捉えているのは、
五感のうち**視覚が85%**！



良い景観・悪い景観とは…？

良い景観

- 「見たいもの」が「見やすい」状態にあること
- 「見たくないもの」が「見えない・見にくい」状態にあること

悪い景観

- 「見たいもの」が「見にくい」状態にあること
- 「見たくないもの」が「見える・見やすい」状態にあること

調布駅南側 パルコ前の様子



2013年頃

放置自転車が
並んでいます



2017年

自転車がなくなり
建物が見やす
くなりました

市の景観まちづくりの取組

市民や事業者のみなさんと市とが協力して、調布らしい景観をつくりあげていくため、様々な景観まちづくりの取組を行っています。

景観形成に関する
基準づくり



景観計画に基づく
建築物等の規制誘導



ちょうふ景観だより



市民検討会



景観学習



調布市の景観はこんなところ

起伏に富んだ自然豊かなまち

調布市内を東西に国分寺崖線・野川・布田崖線・多摩川が横断しています。起伏に富んだ地形によって、市民に親しまれている丘陵地の緑や河川沿いの景観ははぐくまれています。



地域特性に 合わせた景観づくり

調布市では、平成26年度に「調布市景観計画」を策定し、調布らしい景観をつくりあげていくための、具体的なルールなどを定めています。

国分寺崖線、野川、布田崖線、多摩川といった自然環境、道路・駅などの景観の特性に応じて、2つの景観形成重点地区（国分寺崖線・深大寺通り周辺）、それ以外を一般地域とし、一般地域の一部に4つの景観形成推進地区（水・道・駅・農）を定め、それぞれにあった景観形成目標や方針、配慮事項を定めています。

